



**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



# 株式会社KAKEAI (KAKEAI, Inc.)

設立 | 2018年4月

資本金 | 12億3,824万円（資本準備金含む）

所在地 | 東京都港区北青山2-13-5 青山サンクレストビル8F

パーパス | あなたがどこで誰と共に生きようとも、  
あなたの持つ人生の可能性を絶対に毀損させない。

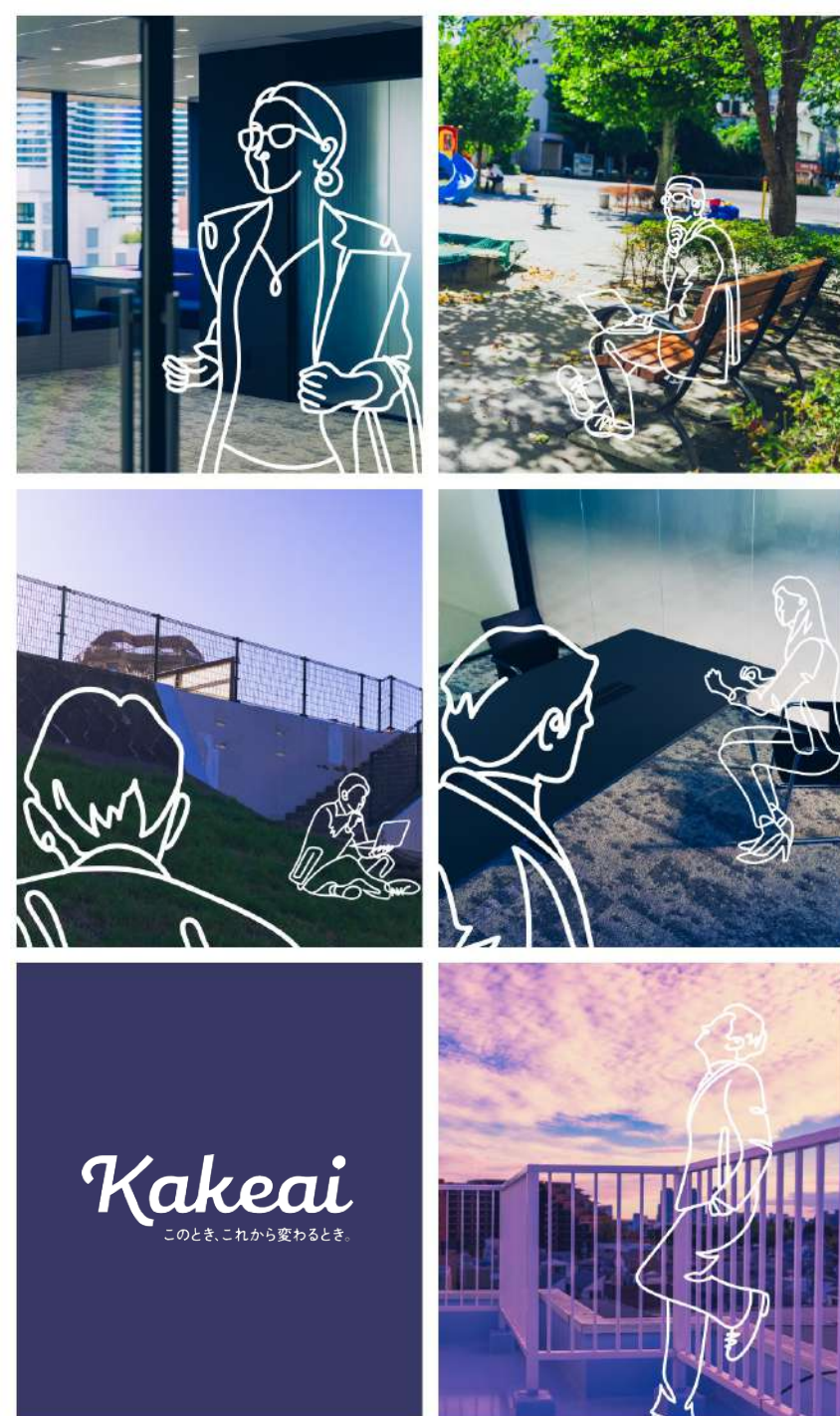
事業内容 | 1on1クラウドKakeai（カケアイ）の開発・運営

特許 | 属人的なコミュニケーションによる非生産的な状況を変える複数の特許保有  
二者間のコミュニケーションにおいて個々人への関わり方を改善するためのコンピュータシステム、方法、およびプログラム 他（特許6534179号、6602996号、6602997号、6651175号、6813219号、7057011号、7057029号、7084665号、米国特許第11461724号）

受賞 | 日本企業で初めて世界のHR テクノロジースタートアップ30社に選出  
（その他、国内外のHRテクノロジー関連アワード受賞多数）

代表著書 | 上司と部下は、なぜすれちがうのか

（2022.8月、ダイヤモンド社 ※ダイヤモンド・ビジネス企画50周年記念）



# 1on1ミーティング とは？

*Kakeai*  
このとき、これから変わるとき



# 1on1ミーティングとは？ 業務ミーティング とは別のもの

1on1ミーティングとは、業務の指示・判断を目的とした会議ではなく、部下の成長を支援するための定期的な面談です。

企業と個人を強くつなぎ、互いの成長・成果へ繋げる場です。

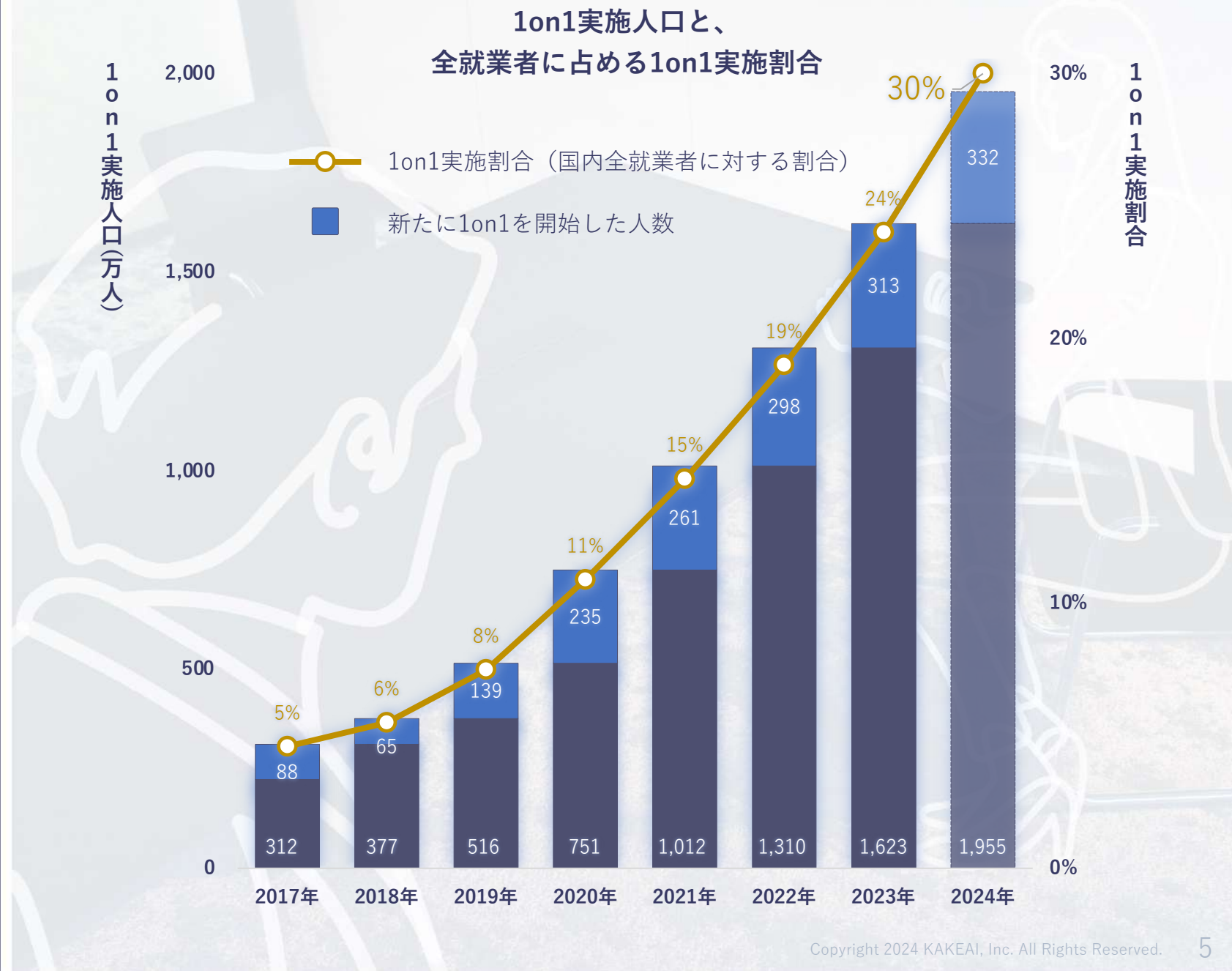
**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

|           | 業務のミーティング    | 1on1ミーティング                                  |
|-----------|--------------|---------------------------------------------|
| 主体        | 上司           | 部下                                          |
| 頻度        | 随時           | 定期 + 自由にいつでも<br>(月1~2回・30分~60分)             |
| 状態        | 上司 > 部下      | 上司 = 部下<br>上司というよりも「先輩」というイメージ              |
| 意識されるポイント | 適切な、指示・判断・調整 | 支援・共に考える・<br>気づききっかけの提供・<br>相互理解や信頼関係の醸成    |
| 会話のテーマ    | 業務           | 業務・キャリア・プライベート・<br>人間関係・スキルや力の向上<br>...etc. |

# 1on1ミーティングとは？ 1on1実施人口は 増加傾向

2024年推計では、国内の全就業者の30%が1on1を実施。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



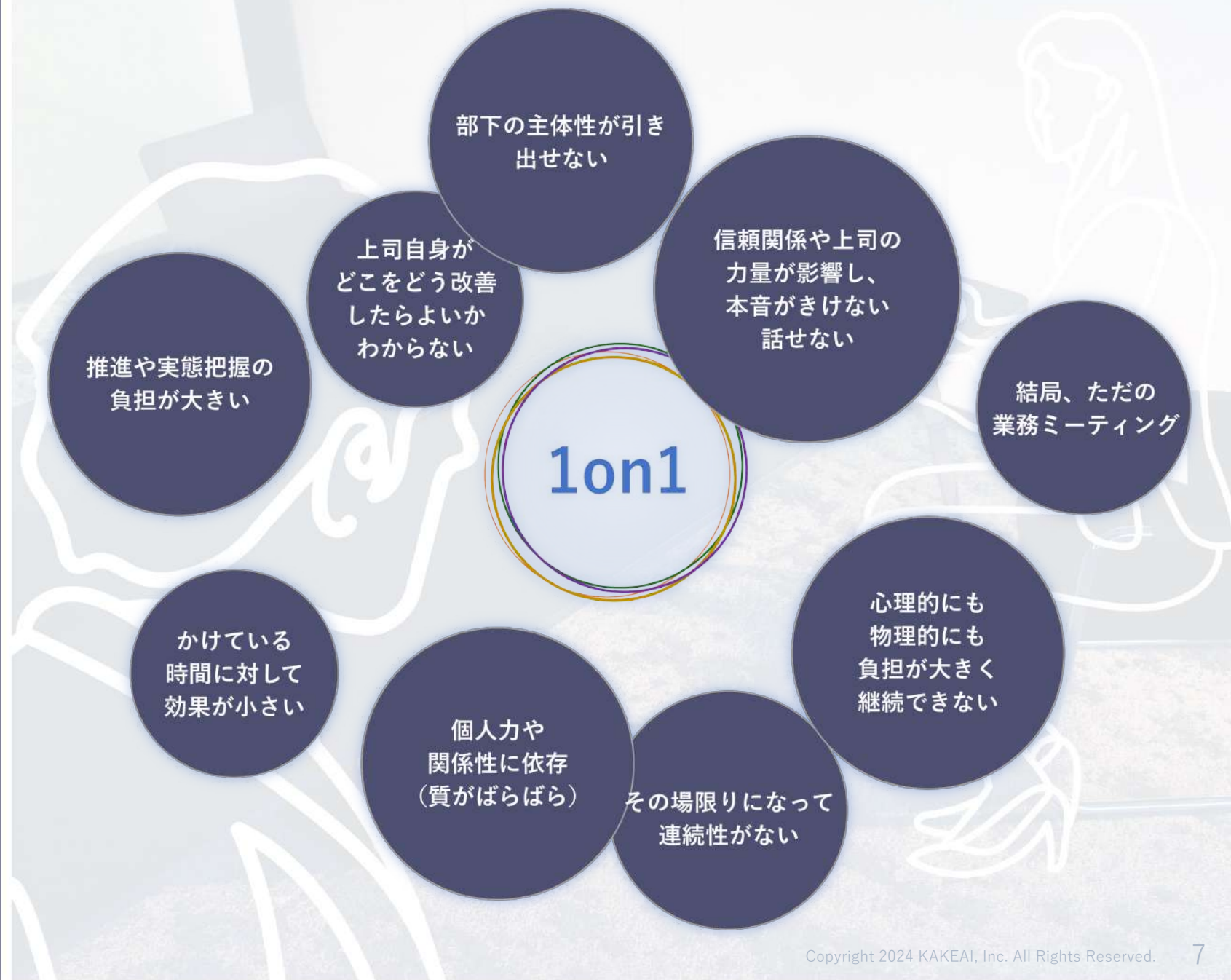
1on1ミーティングとは？  
企業と従業員の  
関係の変化  
→1on1実施・強化



# 1on1ミーティングとは？ 取り組んでみるも

非常に重要な取り組みである一方、1on1は現場の負担も大きい上に、上司部下の関係性やコミュニケーション力にその質が依存しがちであり、多くの問題が生じます。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

Kakeai  
このとき、これから変わるとき。

1on1特有の問題をテクノロジー・UX・特許で解決します。

よりよい1on1を追求し設計されたUX

1on1の質を高める、社会のナレッジ展開やAI

1on1の負担を取り除く、便利で楽な仕組み

1on1専用で発明された複数の特許



属人的なコミュニケーションによる非生産的な状況を変える複数の特許

二者間のコミュニケーションにおいて個人々人への関わり方を改善するためのコンピュータシステム、方法、およびプログラム 他（特許6534179号、6602996号、6602997号、6651175号、6813219号、7057011号、7057029号、7084665号、米国特許第11461724号）

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

業種・職種問わず、数百社の  
1on1で利用されています。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## ご利用企業の一部 (業種・職種問わず、数百社の1on1で利用)

三井物産  
アサヒグループジャパン  
KDDI  
NTTデータ  
JICA  
イーデザイン損害保険  
伊藤忠商事  
Sansan  
クラレ  
INPEX  
住友商事  
TDK  
神戸大学医学部附属病院  
豊田自動織機  
アシックス  
資生堂  
日野自動車

富士通  
SCSK  
ニンテンドーシステムズ  
サミー  
リコージャパン  
楽天グループ  
オムロングループ  
大日本印刷  
エーザイ  
朝日生命  
大塚製薬  
トランスコスモス  
東京電力エナジーパートナー  
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ  
ポーラ・オルビスホールディングス  
みずほリサーチ&テクノロジーズ  
キヤノンマーケティングジャパン

日本郵便  
農林中央金庫  
ぺんてる  
インテック  
朝日新聞社  
GMOリサーチ  
日本毛織  
小林製薬  
ヤマハ発動機  
ブリヂストン  
電通デジタル  
旭化成ホームズ

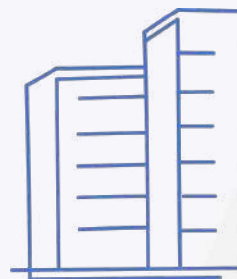
# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

ご利用開始のパターンもさまざまです。

※Kakeaiは、現場の上司部下の皆様  
に支持されるサービスです。  
株式会社KAKEAIに日々頂戴する  
多くのお問い合わせのうち、人事  
以外、の部署の割合は82%です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## さまざまな利用開始パターン



会社全体で利用開始

部署単位で利用開始



手上げで募り利用開始



上司や部下以外で利用（メンター等）



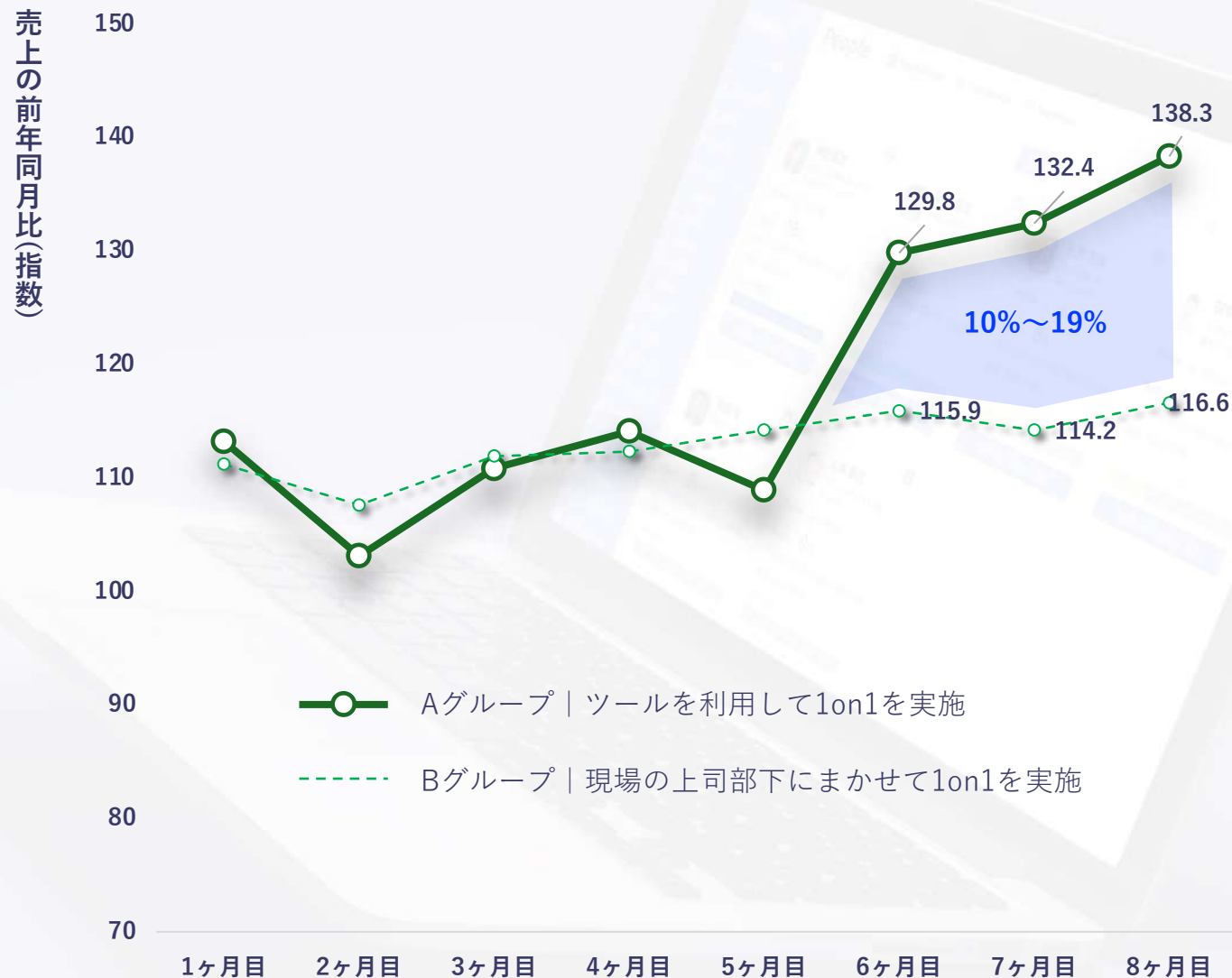
上司部下の1組で利用開始

# 1on1クラウドKakeai 売上への影響

ある企業の500名の営業部門を、  
無作為に分割し、Kakeaiを使っ  
て1on1を行ったグループAと、そ  
うではないグループBでは、売上  
で約2割の差が生まれました。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

売上の前年同月比（指数）の比較



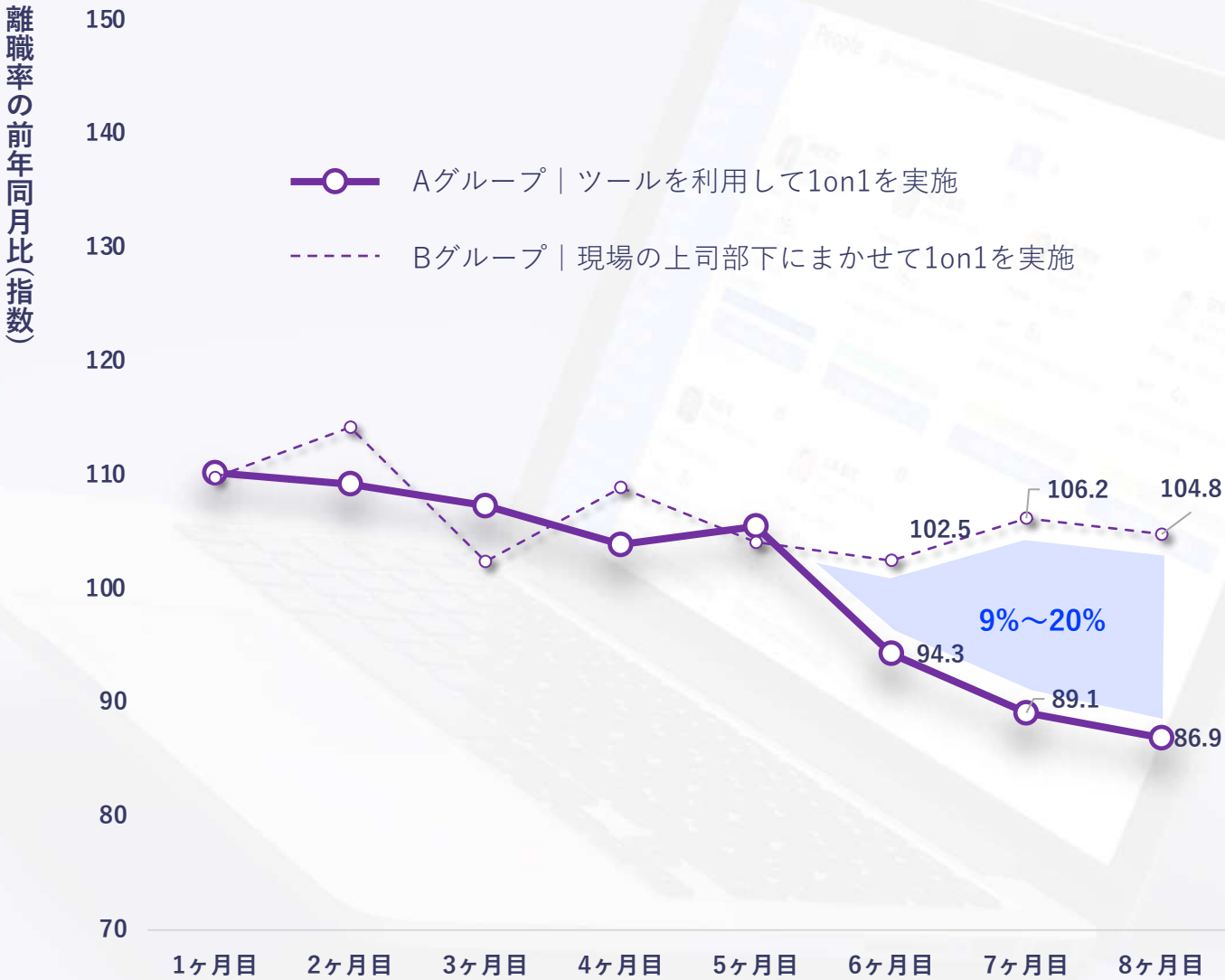
実証実験開始後の月数

# 1on1クラウドKakeai 離職率への影響

ある企業の500名の営業部門を、  
無作為に分割し、Kakeaiを使っ  
て1on1を行ったグループAと、そ  
うではないグループBでは、離職  
率でも約2割の差が生まれました。



離職率の前年同月比（指数）の比較



実証実験開始後の月数

# 1on1クラウドKakeai エンゲージメント への影響

Kakeaiを利用した1on1では、  
1on1の対話のテーマ（トピック）ごとの満足度が、エンゲージメントスコアへ影響することが確認されています。



## 1on1の対話のテーマ（トピック）ごとの満足度が、 エンゲージメントスコアへ与える影響

※エンゲージメントスコアを目的変数、各トピックの1on1満足度を説明変数とした回帰分析結果

| 1on1全体      |                  | エンゲージメントスコアへの影響 |              |
|-------------|------------------|-----------------|--------------|
|             |                  | ++++            | （強い影響が認められる） |
| 1on1のトピックごと | 1. 業務の進捗や進め方について | +               | （弱い影響が認められる） |
|             | 2. 人間関係について      | なし              |              |
|             | 3. 心身の状態について     | なし              |              |
|             | 4. 今後のキャリアについて   | ++++            | （強い影響が認められる） |
|             | 5. スキルや力の向上について  | ++              | （影響が認められる）   |
|             | 6. プライベートについて    | なし              |              |
|             | 7. 会社や部署の方針について  | +++++           | （強い影響が認められる） |

# 1on1クラウドKakeai 1on1の感じ方に 大きな変化

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## ユーザーアンケート結果

対話の質の  
向上を感じる

86.6%

対話が  
スムーズになった

79.8%

心理的・物理的な  
負担が減った

84.5%

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

1on1特有の問題をテクノロジー・UX・特許で解決します。

よりよい1on1を追求し設計されたUX

1on1の質を高める、社会のナレッジ展開やAI

1on1の負担を取り除く、便利で楽な仕組み

1on1専用に発明された複数の特許



属人的なコミュニケーションによる非生産的な状況を変える複数の特許

二者間のコミュニケーションにおいて個人々人への関わり方を改善するためのコンピュータシステム、方法、およびプログラム 他（特許6534179号、6602996号、6602997号、6651175号、6813219号、7057011号、7057029号、7084665号、米国特許第11461724号）

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

1on1特有の問題をテクノロジー・UX・特許で解決します。



基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

+

あらゆる1on1を支える、その他の機能（一部）



すり合わせ



サーベイ統合



特性の相互理解



TODO



メンター・メンティー



データ連携

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

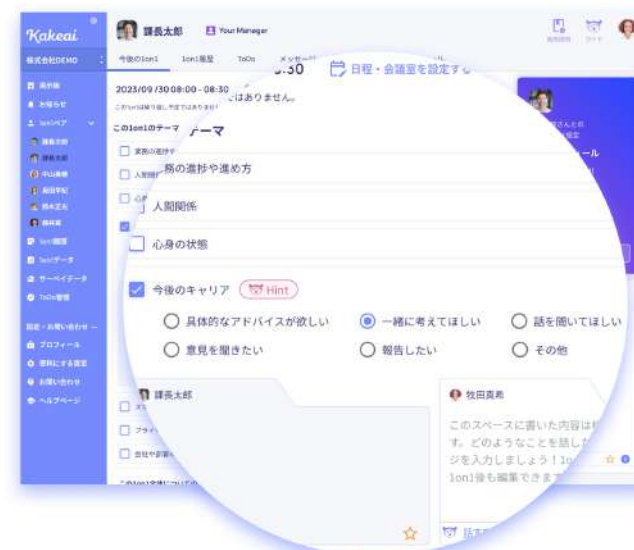
基本機能の概要です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## 基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

負担のない事前準備

部下やメンティー



- 話したいトピックを選ぶ
- 上司やメンターに期待する対応を選ぶ
- Outlook、Googleカレンダー等との同期、会議室予約、1on1希望時間表示...etc.

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

基本機能の概要です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## 基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

スムーズで手応えのある1on1実施

お互いに



- 上司への「対応のヒント」提供
- ビデオ通話内蔵でリモート・対面に対応
- 生成AIによる要約や自動文字起こし
- リアルタイムに同期されるメモ
- テーマを自動提供するアイスブレイク
- 第三者へのメモの共有や引き継ぎ
- クリティカルな情報をタイムリーに報告
- ...etc.

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

基本機能の概要です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## 基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

### Kakeaiにたまるフィードバック

#### 部下やメンティー

今回の1on1の感想と満足度を入力してください！

1on1の感想 🐱 お相手にお知らせします

自分のことや状況を知ってもらえました 👉 相手のことや状況を知れました 👈

すっきりしました 👉 助かりました 👉 やる気が出ました 👉 ほっとしました 👉

気づきがありました 👉 よく考えてみます 👉 挑戦してみます 👉

もう一度会話したいです 👉

1on1の満足度 🐱 匿名です 詳しくはこちら

今回の1on1全体

★ ★ ★ ★ ★

今後のキャリア × 具体的なアドバイスが欲しい

★ ★ ★ ★ ★ ☐ この話をしなかった

入力完了

- 感想の送信
- 完全匿名での1on1の満足度の送信

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

基本機能の概要です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

AIやデータから改善方法を掴む

上司やメンター



- 1on1ビッグデータから、上司自身の得意・苦手をリアルタイムに可視化
- Kakeaiユーザーから共有される、具体的な改善策
- 社会全体や、過去の自分との比較
- ...etc.

# 1on1支援クラウド Kakeai(カケアイ)

基本機能の概要です。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

## 基本機能 | 日常的な1on1を支える十分な機能

実態を掴み、シャープに現場を支援

経営、人事、企画・推進系部門



- 1on1の状況や、各組織の1on1の特徴、1on1実施回数等を可視化
- 外部システム連携によるユーザー管理
- ...etc.

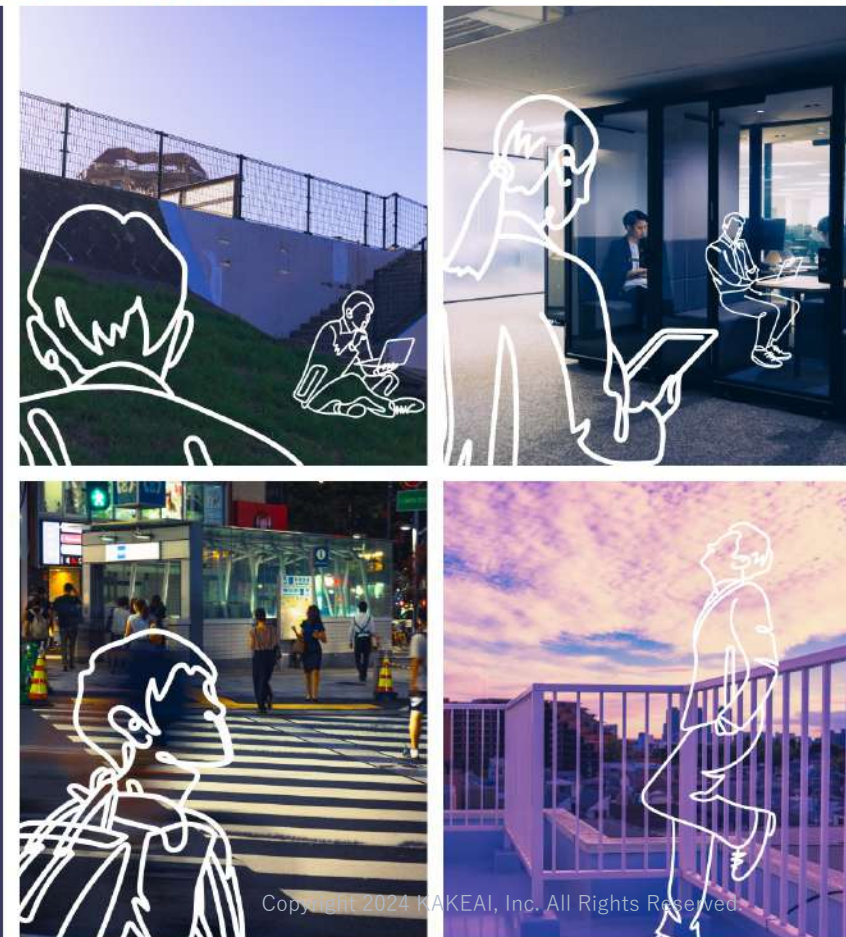


# Appendix

## 実証実験

売上・離職率で  
2-3割の違いが生まれた1on1と  
通常の1on1の5つの違い。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



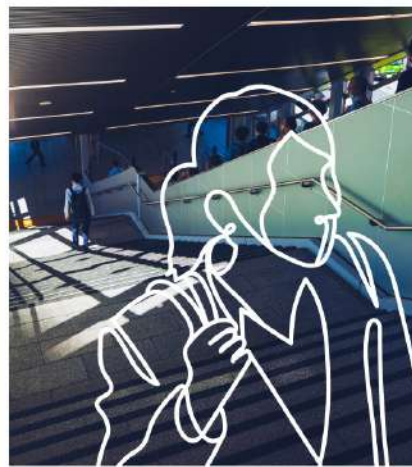
ある企業の500名の営業部門を、  
無作為に分割。  
両グループに、約8ヶ月に渡って  
異なるスタイルでの1on1を実施。

結果、両者間では、売上および離  
職率で2-3割の違いが生じました。

この資料では、この実証実験期間  
中の両者の1on1の違いについて  
ポイントを絞ってお伝えします。

*Kakeai*

このとき、これから変わるとき。



# 前提条件

## 前提

### 組織特性

- ある企業の営業部門（全体で約500名・全国に拠点が点在）
- 全国で同一のマーケットに対峙しており、市況の影響の受け方には拠点ごとの差がない。
- 管理職は35名（1on1で上司側にあたる社員）

### 1on1の取り組み

- 本実証実験以前から、人事が主導し、管理職向けには1on1に関する研修を定期的実施してきた。また、1on1の実施マニュアル、1on1に関する参考情報や動画を社内のイントラネットで共有してきた。
- これまでも、2週間に1回の1on1実施を推奨してきたが、具体的な実施方法は現場の管理職に任せてきた。

## 条件

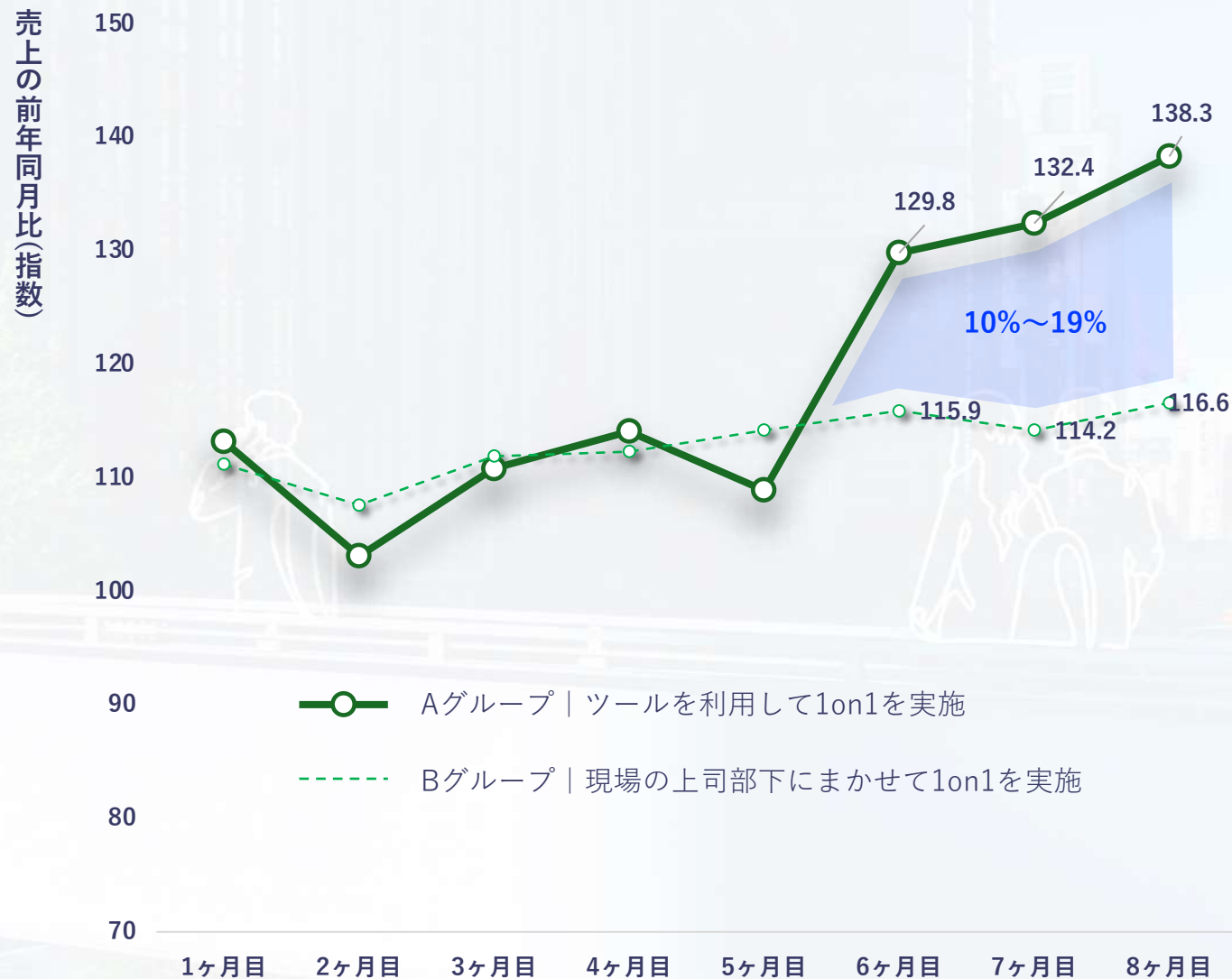
- 無作為に分けた半数約230組のペアは、これまで通りの方法で1on1を実施。もう一方は、1on1支援ツールKakeai（カケアイ）を用いて実施。
- いずれも2週間に1回の1on1実施を「推奨（必須ではない）」
- 8ヶ月に渡って本条件を継続。

両者に生じた違い

## 売上

実証実験開始後、6ヶ月目から大きな差が発生（最大で約2割）

売上の前年同月比（指数）の比較



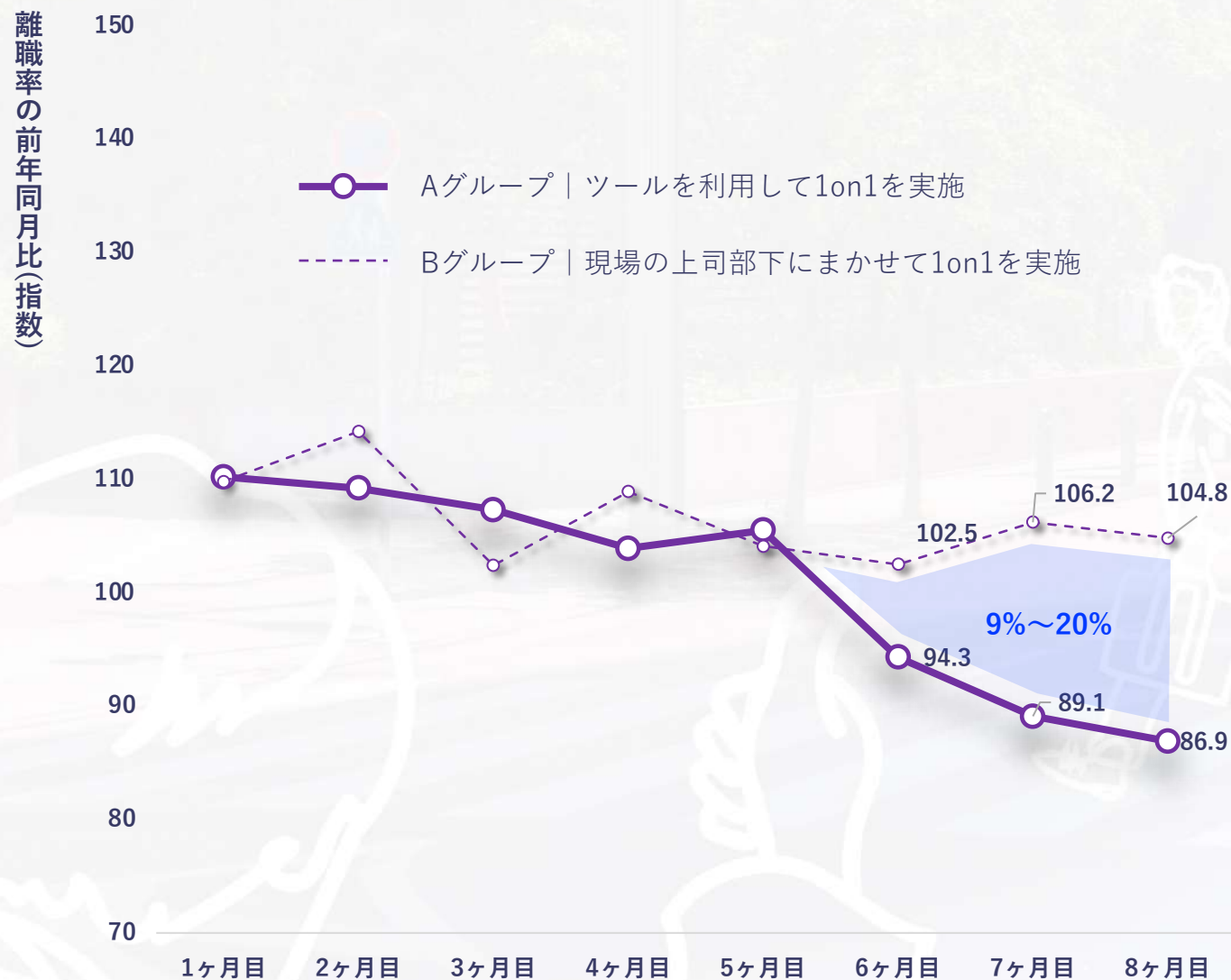
実証実験開始後の月数

両者に生じた違い

## 離職率

実証実験開始後、6ヶ月目から大きな差が発生（最大で約2割）

離職率の前年同月比（指数）の比較



## 両者の1on1に存在した 5つの違い

グループBが実証実験前と変わらず、現場の管理職に任せて1on1を実施していた一方で、グループAは1on1支援ツールを用いて1on1を行った。  
1on1支援ツールにはさまざまな機能が存在するが、中でも5つの点において両者間に違いがあった。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。

1

部下が、1on1で「話したいと思っていること」を選択した上で1on1に望んでいた。

2

部下が、上司に期待している対応（アドバイスを欲しい、一緒に考えてほしい、話をきいてほしい…など）を選択した上で1on1に望んでいた。

3

上司が、1on1の事前に、部下が「話したいと思っていること」と「自分に期待している対応」を確認した上で1on1に望んでいた。

4

お互いがいつでも確認できる場所にメモを残していた（メモは、会話した全てをメモするのではなく、ポイントとなる部分や、次回の1on1へ向けて日常的に意識しておくことなどをメモ）

5

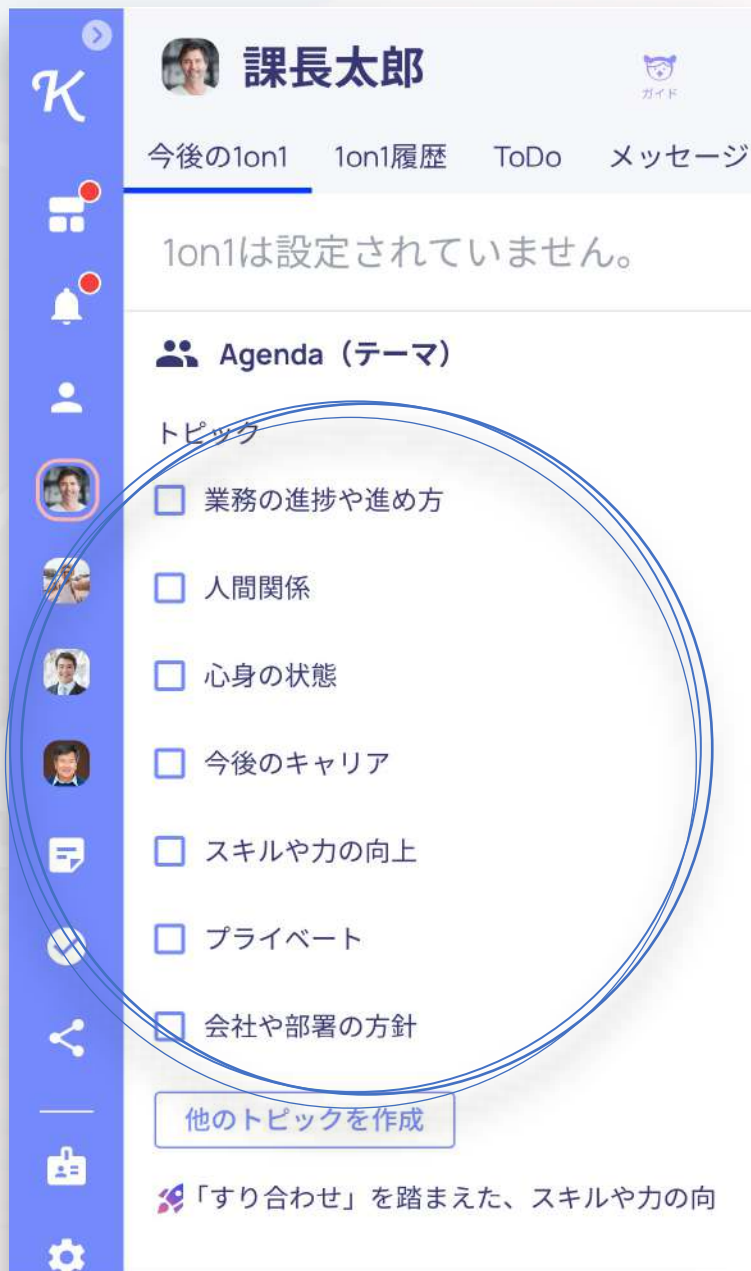
上司が「自分の得意や苦手」を把握し、さらに、他の上司の「こうやったらうまくいった!」というヒントをいつでも確認できる状態がつくられていた。

# 5つの違い

1

部下が、1on1で「話したいと思っていること」を選択した上で1on1に望んでいた。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



## グループAの「部下」の声

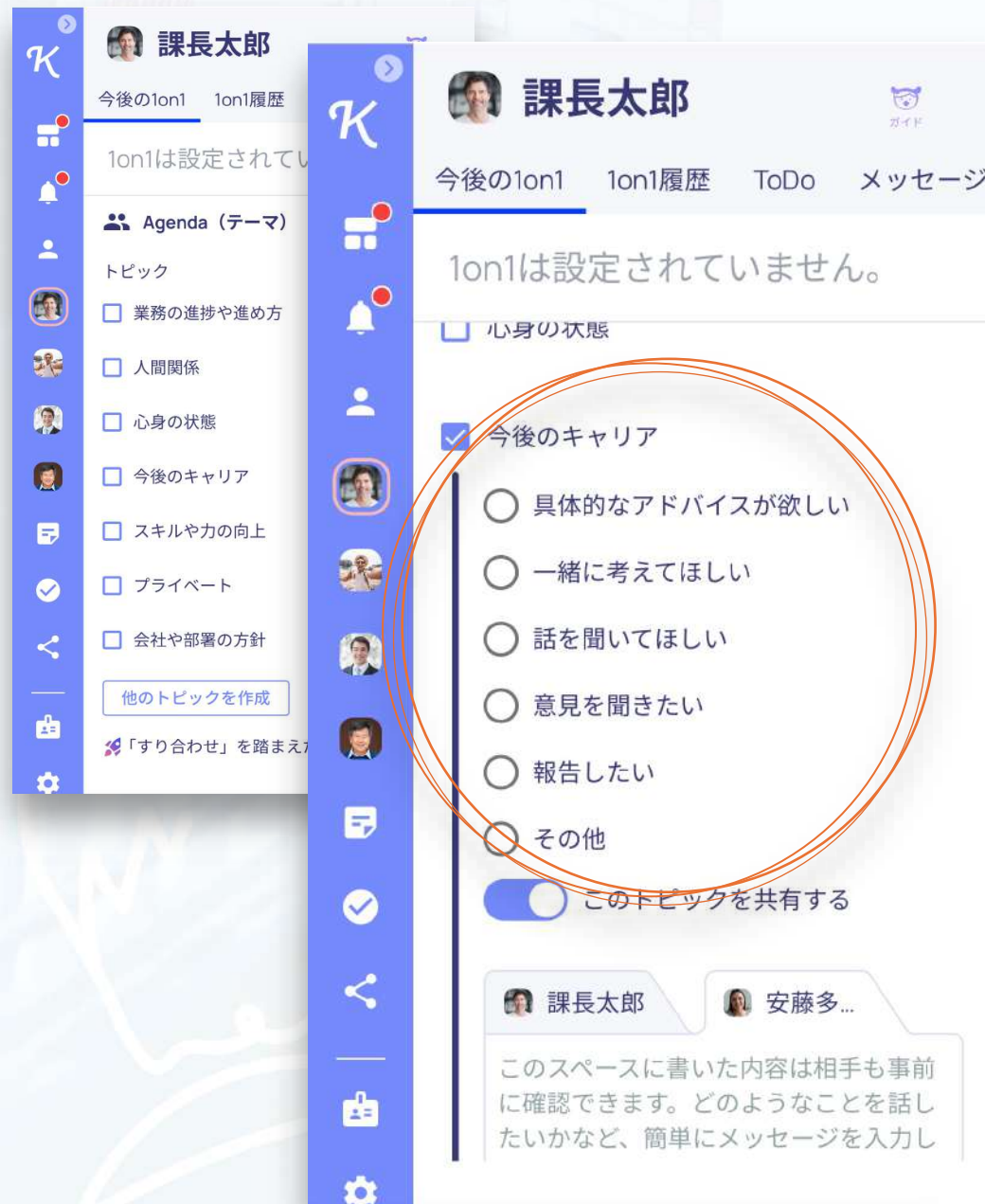
- 「何でも話していいよ」と言われたところで、切り出すのは難しい。選択肢があるのと無いのでは全く違った。
- 選択肢があることで、こういうことも話していいんだと思えて、安心して話せた。
- これまでは“出たところ勝負、だったが、時間の使い方を考えから1on1に臨むようになった。
- 業務の話しばかりになりがちだったが、ずっと話したかった「今後のキャリア」や、伝えておきたい「プライベート」の話を遠慮なくできた。

# 5つの違い

## 2

部下が、上司に期待している対応（アドバイスが欲しい、一緒に考えてほしい、話をきいてほしい…など）を選択した上で1on1に望んでいた。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



## グループAの「部下」の声

- アドバイスが欲しいのに、話を聞かれているばかりだったが、そういうことがなくなって1on1の価値が高まった。
- 上司がどう考えているのかについても聞くことができ、普段のコミュニケーションが円滑になった。
- まだ考えが生煮えの時は、遠慮なく「一緒に考えて欲しい」を選択肢して胸を借りてみた。
- 「ひとまず伝えたい」ということも多々あるので、そういう場合は話を聞いてほしいを選択している。
- とにかく1on1が自分の時間になった。

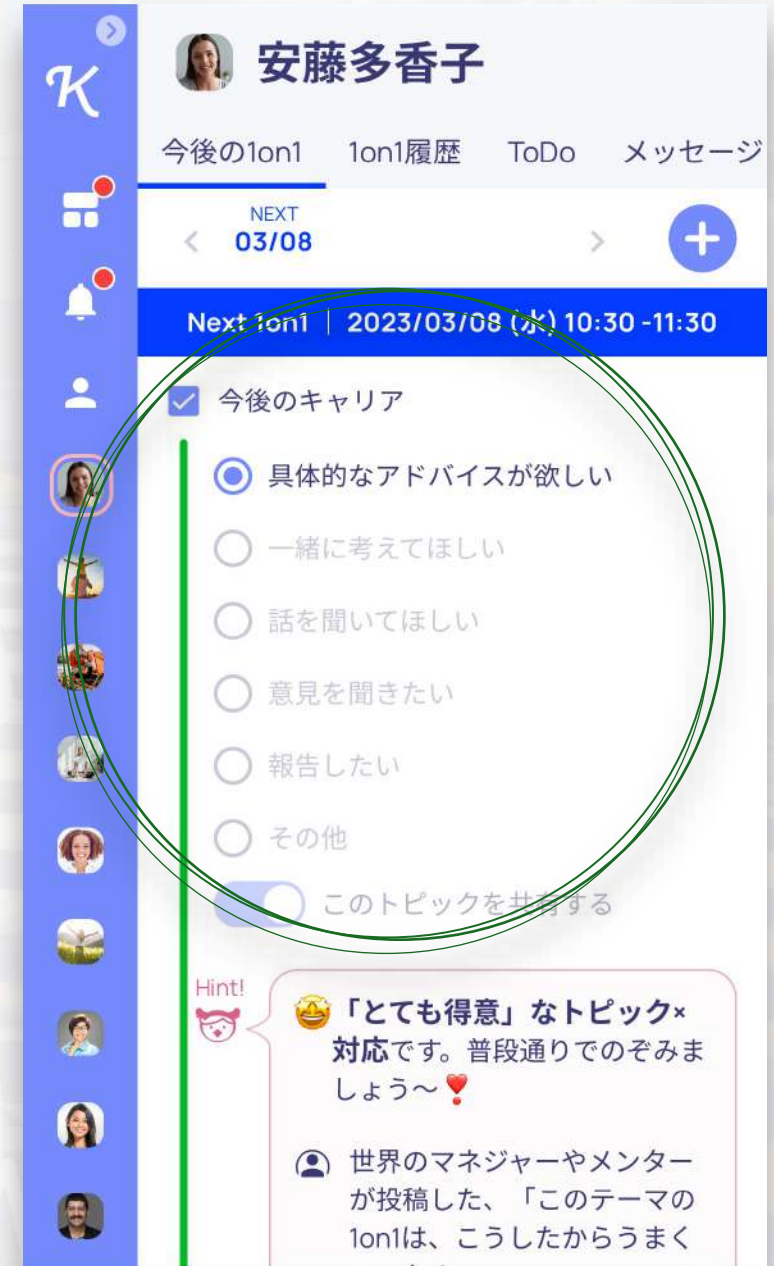
# 5つの違い

# 3

上司が、1on1の事前に、部下が「話したいと思っていること」と「自分に期待している対応」を確認した上で1on1に望んでいた。

## グループAの「上司」の声

- これまでは自分が話をし過ぎないことを強く意識していたが、どうもしっくりきていなかった。相手が期待している対応に合わせたら、どんどん深い話しになった。
- 1on1開始の直前にほんの数秒だけ確認していた。それだけでも心の準備が全く違う。1on1は上司側にも心理的なストレスがかかるものだと思うが、それがなく1on1が楽しく、かつ噛み合うようになった。
- 私の場合、まだ管理職としての経験が浅いこともあり、特に「会社や部署の方針×意見を聞きたい」に対しては、あらかじめ部長にアドバイスをもらってから当該メンバーとの1on1に望んだ。
- これほどまでに、部下や、部下が選択するトピックに応じて、自分自身が期待されていることが違うということに驚いた。いかに自分が表面的な情報や、自分の解釈でそれぞれの部下を捉えていたかに気づく。

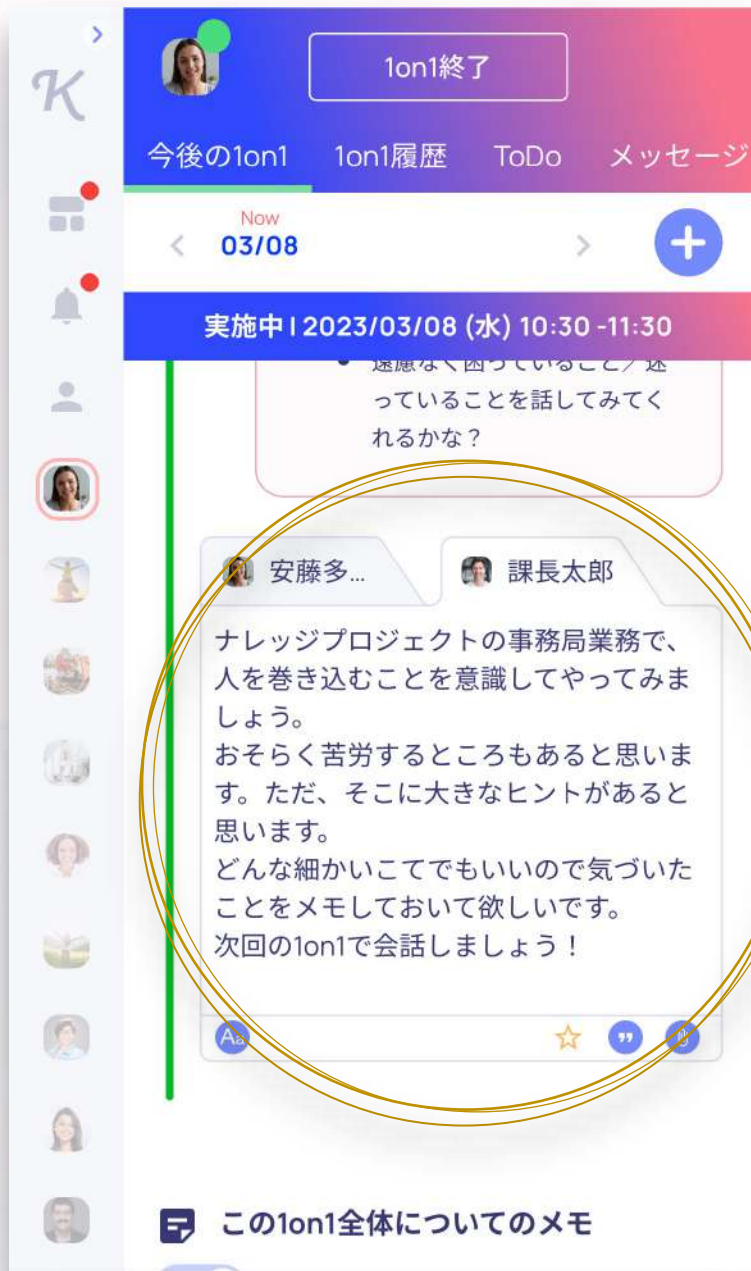


# 5つの違い

4

お互いがいつでも確認できる場所にメモを残していた（メモは、会話した全てをメモするのではなく、ポイントとなる部分や、次回の1on1に向けて日常的に意識しておくことなどをメモ）

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



※本実証実験以降のバージョンアップにより、音声自動文字起こしや、ChatGPTによる1on1の対話自動要約機能が実装されています。

## グループAの「上司」の声

- 少しだけの工夫だが“1on1のための1on1”ではなくて、1on1が起点となり、日常の部下の行動に繋がることで本質的なマネジメントのサイクルが回せるようになった実感がある。
- これまで「話したことを忘れる」「メモした場所が見つけられない」ということがあったが、一元管理されて非常に効率がよかった。

## グループAの「部下」の声

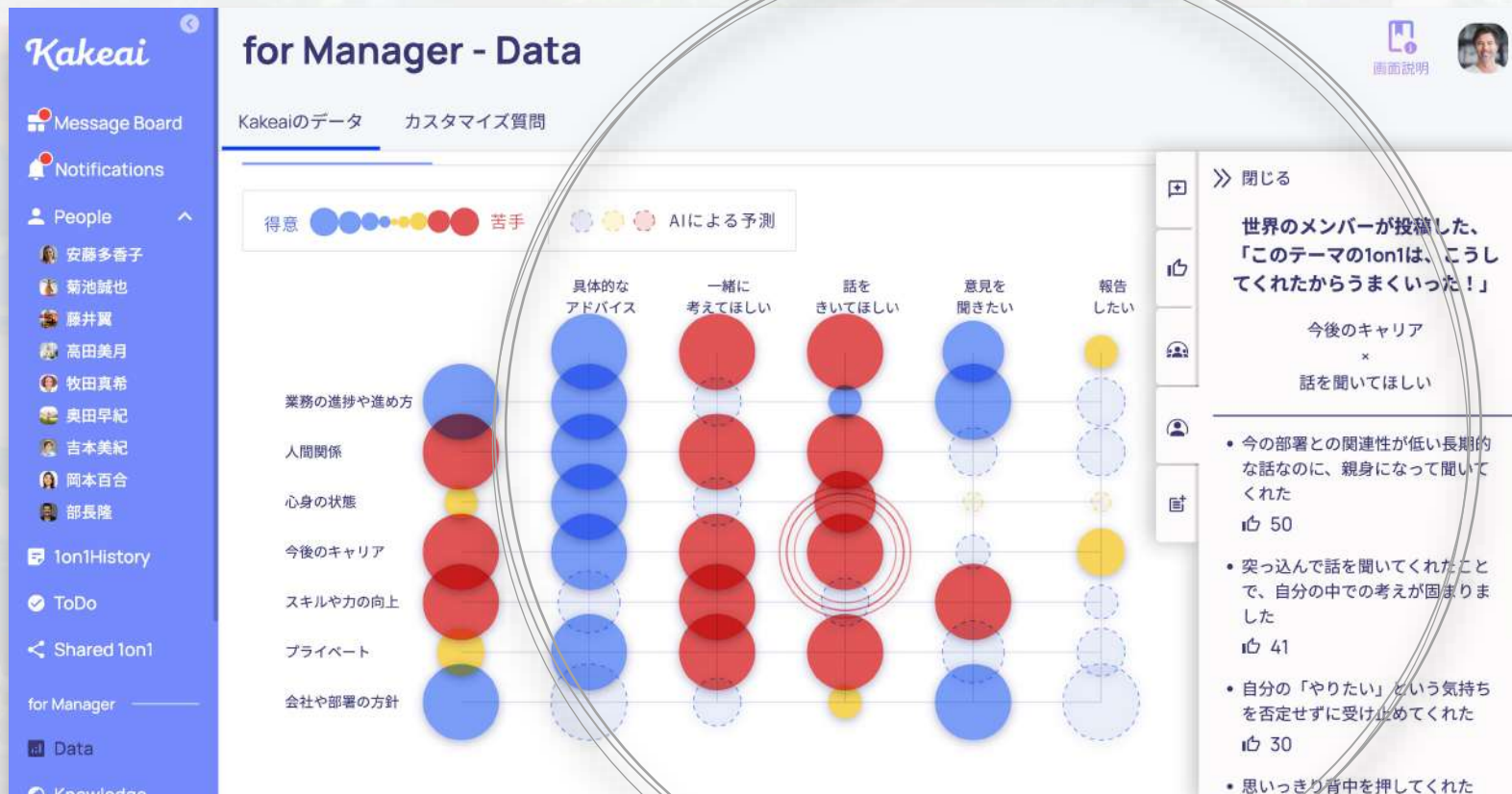
- これまでは“1on1で生まれるのは仕事、という感覚だったが、“自分自身の人生にとって今の仕事を活かすか、という観点で次回1on1までに意識したいことなどが生まれ、仕事の質がとても高まった。
- やはりきちんと話せば気づきや学びがあることを知った。そうした内容をメモに残している（同期されている部分に記載しながら、ニュアンスが違えば指摘ももらっている）1on1で自分の力が積み上がっているように感じる。

# 5つの違い

5

上司が「自分の得意や苦手」を把握し、さらに、他の上司の「こうやったらうまくいった!」というヒントをいつでも確認できる状態がつけられていた。

**Kakeai**  
このとき、これから変わるとき。



## グループAの「上司」の声

- 自分の得意なことと苦手なことがわかり、改善に効く。自分の場合苦手なことは割と認識していたが、得意なことがわかったのはとても自信に繋がった。気が楽になった。
- 他社のマネジャーの皆さんのコメントを見てとても刺激を受ける。皆さん頑張っているな、自分も頑張らなくてとは励まされた。

# 現場の上司部下の皆様に支持されるサービス 事実、人事“以外”からの問合せが82%

1on1支援クラウドKakeaiの基本である「1on1」機能。1on1特有の問題をテクノロジー・UX・特許で解決します。

よりよい1on1を追求し設計されたUX

1on1の質を高める、社会のナレッジ展開やAI

1on1の負担を取り除く、便利で楽な仕組み

1on1専用に発明された複数の特許

日本企業で初めて世界のHRtechサービスTOP30に  
選出されるなど、国内外からの高い評価



特許：  
二者間のコミュニケーションにおいて個々  
人への関わり方を改善するためのコンピュ  
ータシステム、方法、およびプログラム 他  
（特許6534179号、6602996号、6602997  
号、6651175号、6813219号、7057011号、  
7057029号、7084665号、米 国 特 許 第  
11461724号）



あらゆる1on1を支える、その他の機能（一部）

## Kakeai

このとき、これから変わるとき。



すり合わせ

中長期視点での成長支援プランを作成し  
1on1につなげる「すり合わせ」機能



サーベイ統合

各種サーベイをKakeaiに統合し、ツール  
を減らしながら、1on1を通じた具体的な  
改善に接続する「サーベイ」機能



特性の相互理解

脳科学に基づくセルフアセスメントで個  
人の特性に合わせた最適なコミュニケー  
ションを生み出す「特性相互理解」機能



TODO

1on1をその場限りにならず、具体  
的に日常につなげる「TODO」機能



メンター・メンティー

Kakeai上でメンター・メンティーと繋が  
る、活性化させる「メンター・メンティ」  
機能



データ連携

ユーザー管理のための他システムとの連  
携や、タレントマネジメントシステム等  
での1on1データの取り込みを可能にする  
「データ連携」機能



株式会社KAKAEI  
東京都港区北青山2-13-5 青山サンクレストビル8F

お問い合わせ先  
マーケティング本部 担当 | 白石・川端  
contact@kakeai.co.jp  
03-6721-1176

*Kakeai*  
このとき、これから変わるとき。



BRAND STATEMENT

# このとき、 これから変わるとき。

1on1、  
この瞬間が、あなたの節目であるように。  
この時から、あなた自身を肯定できるように。  
このドキメキが、明日もあなたを輝かせるように。  
この時間が、人生の分岐点に出会ったと感じられるように。

Kakeai の1on1 は、継続的に対話の質を高めます。

*Kakeai*